



令和7年度の
仙台市の
主要事業

ひとが輝くまちづくり 彩り豊かな仙台の未来へ



—令和7年度施政方針から



仙台市長
郡 和子

まちの中心はひと。ひとが輝くことでまちは躍動し、多くの人を惹きつける。市長就任からの変わらぬ思いです。人口減少が進む東北の現状に風穴を開け、社会の閉塞感に立ち向かうには、従来の制度や仕組みにとらわれない、自由で創造的なチャレンジが必要です。性別、年齢、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが自分らしく活躍し、多様な発想が掛け合わせられ、イノベーションにあふれる、「仙台に暮らしてよかった」と思えるまちづくりを進めます。

このまちの未来を担うのは子どもや若者です。小・中学校一貫の英語を核とした新たな教科の設置や、西公園への屋内遊び場の整備に着手します。また、令和8年度から子ども医療費助成の一部負担金を廃止し、対象を18歳まで拡充するなど、「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に力を尽くします。

学都の知の力を生かし、スタートアップを新たな成長エンジンにするため、海外を見据えたワンス

リングや複数の教員が学級担任を担うチーム担任制を導入します。

ひとが輝く舞台となるまち

「新たな仙台観光」を目指し、秋保大滝展望台の整備や、海外プロモーション、大河ドラマの誘致に取り組みます。また、大阪・関西万博に東北絆まつりを出展するほか、7月に開館する仙台市アリーナをPRし、スポーツなどのイベントを誘致します。

多様な人材が能力を発揮できるダイバーシティ経営の支援や、ジエンダード・イノベーションに取り組むとともに、産業用地整備に向けた基本戦略の策定、台湾企業とのビジネス機会の創出を図ります。また、「稼げる都市農業」の実現に向けて、アグリ経営アドバイザーの派遣などを行い、生産性・収益性向上につなげます。

地域の魅力創出に向け、本庁舎建て替えや定禅寺通、勾当台公園の再整備、都心再構築プロジェクトを進めるほか、一番町四丁目商店街での夜間集客イベントにより、にぎわいづくりに取り組めます。

脱炭素先行地域として、既存建築物の省エネ・ZEB化を支援するとともに、新築建築物への太陽光パネル設置などの制度化を進めます。

トップ窓口の開設や、共創と協業の場となるウェットラボの整備などを進めます。また、防災環境都市づくりやスマートシティの取り組みの世界に向けた発信、国際会議の誘致などにより、本市の都市ブランドを強化していきます。

来訪者の心が躍り、市民も楽しめる「観光都市」を目指し、「仙台市観光戦略2027」に基づき、漫画・アニメやスポーツ、震災復興など、新たな観点からのツーリズムを創り出すとともに、思い切った規制緩和も視野に入れながら、宿泊税を最大限活用し、攻めの観光に取り組めます。

「仙台はじまりの地」青葉山エリアでは、令和18年の仙台城大手門復元に向け、基本構想を策定するほか、世界に誇る音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設的设计を進めます。

「ちがいが」が尊重され、多彩な考えや才能が出会うことで新たな価値を生む。全ての人が安心して住み続け、活躍できる仙台らしいダイバーシティの推進により、「世界から選ばれるまち」を目指します。

ダイバーシティ推進指針を本市施策に織り込むとともに、市民への周知啓発を図っていきます。ま

多様なひとの力が生きるまち



東部沿岸エリアの民間施設に太陽光パネルを設置するなど、脱炭素先行地域づくりを進めています

開園150周年を迎える西公園記念事業を実施するとともに、海浜エリアでは周遊イベントを開催します。長町地区における歩いて楽しい街並み形成や、泉区役所建て替えを契機とした泉中央地区の活性化についても検討を進めます。

安全・安心の確保においては、長町一利府線断層帯地震による火災防止に向けた取り組みを始めるほか、マンホールトイレの整備などにより、避難所における環境改善を進めます。また、救急搬送の増加に対応し、受入病床を確保するため、市内病院間の連携を強化するとともに、救急隊から伝達する情報のデジタル化により、搬送時間の短縮を図ります。

このほか、南仙台駅における改札口増設に向けた調査や、地下鉄におけるクレジットカードのタッチ決済導入を進めます。

◆ 先人が培ってきた仙台の歴史、文化を誇りとし、多様な人の力を掛け合わせながら、彩り豊かな仙台の未来につなげてまいります。



戸籍住民課窓口における多言語対応を強化するなど、外国人が暮らしやすい環境の整備に取り組みます

た、外国人の住民登録の特設窓口の設置や、生活環境に関する全数調査を実施します。

さまざまな人が生き生きと暮らし、地域の担い手としても活躍できるように、高齢者のボランティア活動などに応じて市内の店舗などで使用できるポイントを付与するアクティブシニア・ボランティアポイント制度を開始するほか、敬老乗車証が利用できる交通機関拡大に向けた実証実験を行います。

安心して暮らせる地域社会の実現に向け、高齢者や障害者など避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成や、総合防災情報の音声読み上げアプリの導入を進めます。

精神科治療中断者に医師などがチームでアウトリーチ支援をするほか、ひきこもりの方に心理職によるカウンセリングを行います。ヤングケアラーについて、認知度向上に向けた啓発や、家事などの代替サービスの提供を実施します。重度障害児者施設の開設費補助の拡充や、医療的ケアが必要な方を対象とした非常用電源の購入費

の補助を行うほか、認知症の方と家族が希望を持って暮らせるような支援体制を構築します。

こどもたちが健やかに育つまち

就労要件を問わず利用できる保育施設などを拡充するとともに、SNSを活用した子育て情報の発信や、育児に不安を抱える世帯への育児ヘルパーの派遣を行います。こどもたちが安心して育つ環境づくりに向けて、こども食堂をはじめとする多様な居場所づくりを進めます。また、始業前に学校施設で学びや体験活動ができる居場所を開設するモデル事業に取り組みほか、仙台こども財団と連携し、「こどもいけん広場」を実施します。また、いじめ対策支援員を拡充するとともに、在籍学級外教室「ステーション」の設置校を小・中学校ともに拡大します。

児童生徒一人一人に合った教育活動ができるよう、部活動の地域移行や学校版BPRに取り組むほか、教職員向けの巡回型カウンセ



子育てや健康に役立つ情報の紹介や、親子で楽しめるワークショップなどを行う「みんな子育てフェスタ&健康フォーラム」

多様なひとの力が生きるまち

ダイバーシティ推進の強化

1億5028万円

本市のさまざまな施策を検討・実施する際に盛り込むべきダイバーシティの視点などを取りまとめた「仙台市ダイバーシティ推進指針」に基づき、誰もが安心して住み続け、活躍できるまちづくりを進めます。ダイバーシティへの理解促進やダイバーシティまちづくりに向けた機運を醸成するため、市民参加型のイベントを開催します。また、災害リスクなどの情報の読み上げに多言語で対応したスマートフォンアプリを導入するなど、デジタル技術も活用しながら、



ダイバーシティについて知り、多様性を体感できるイベントを開催します

障害のある方や外国人など誰もが情報にアクセスしやすい環境を整備します。

避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成推進

5088万円

災害対策基本法に規定する、高齢者や障害者などの避難行動要支援者に対する支援を推進するため、避難行動要支援者名簿の調製や同意確認のほか、個別避難計画の作成などを行い、災害が発生した際の速やかな避難支援体制の確保につなげます。

プロジェクト推進

3870万円

ダイバーシティ推進の一環として、今後増加が想定される外国人住民の実態調査や地域交流の取り組みを行うほか、性別、年齢などの「ちがいが」を新たな技術開発やサービスにつなげるジェンダー・イノベーションの考え方を取り入れた官民連携によるダイバーシティ推進に関連した実証実験などを行います。

戸籍住民課における外国人対応の強化

2195万円

外国人の方が安心して仙台での暮らしを始められるよう、携帯型デジタル翻訳ツールを全ての住民登録窓口に対応し、窓口対応を強化します。また、外国人の転入者が増加する時期に合わせて、全市の外国人の住民登録に特化した（仮称）仙台市外国人住民登録センターを市内中心部に臨時開設します。

男女共同参画の総合的推進

7億5874万円

性別にかかわらず個性と人権を尊重し合い、能力を発揮できる社会づくりに向け、男女共同参画を推進する取り組みを実施します。女性の活躍推進に関するイベントなどを実施するほか、企業における女性の管理職などの登用に向けた啓発や人材育成支援を行います。また、性の多様性の理解促進と性的少数者支援の取り組みとして、情報発信や居場所づくり事業の実

※4～9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます
※金額はいずれも1万円未満切り捨て

ユースチャレンジ推進

1771万円

誰もが心豊かに暮らし続けられる市民協働のまちづくりを進めるに当たり、次期「仙台市協働まちづくり推進プラン」を策定するため、次世代のまちづくりの担い手である若者から意見を聞くワークショップを実施します。また、若者団体から身近なまちづくりに関する事業の提案を募集し、協働で取り組むなど、若者のアイデアを生かしたまちづくりを進めます。

ヘルスケア向上推進

40億6733万円

持続可能な医療体制の確保に向け、オンライン診療で用いる診療カーの稼働期間を延長するとともに、新たな機器の導入などにより、幅広い患者に対応できる体制を構築します。個人の健診結果や歩数などの情報を活用し、一人一人の健康状態や生活習慣を踏まえながら健康づくりを推進します。

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

介護予防・日常生活支援総合事業

34億8270万円

ボランティアや介護・フレイル予防などの活動に応じて市内の店舗での買い物などに使用可能なポイントを付与するアクティブシニア・ボランティアポイント制度を実施し、高齢者の社会参加や健康寿命の延伸を後押しします。介護予防や生活支援サービスの提供のほか、介護予防活動を行うサポートの育成、地域の介護予防自主グループの活動支援などに取り組めます。



身体機能の改善や運動の習慣化のための教室数を拡大するなど、介護・フレイル予防の取り組みを推進します

高齢者保健福祉の推進

61億2427万円

高齢者の社会参加の促進をはじめ、eスポーツの体験会などの生きがいや健康づくりに関する活動への支援、生活支援体制づくりなど、住み慣れた地域で安心して生

認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らせる共生社会づくり

130万円

認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズなどと支援者をつなぐ仕組み「仙台版チームオレンジ」を設置するなど、認知症の方と家族や認知症サポーター、パートナーが一体的に活躍できる地域づくりを進めます。また、「認知症とともに新しい認知症観の普及啓発を推進します。

障害者保健福祉の推進

417億3141万円

共生社会の実現に向け、障害理解や社会参加の促進、就労支援など、各種施策に取り組みます。医療的ケア児や重症心身障害児などへの支援を充実させるため、受け入れ施設の開設費補助を拡充するほか、医療的ケアが必要な方を



障害のある方の芸術活動の普及と振興を目的とした作品展の開催などにより、障害理解の促進を図ります

多職種チームによるアウトリーチ支援

2386万円

精神科治療を中断した方や未治療の方、ひきこもり状態で医療的支援を必要とする方、自殺未遂者などに対して、精神科医などを含む多職種チームによるアウトリーチ支援を行います。

ヤングケアラー支援

1220万円

ヤングケアラーの早期発見・支援につなげるため、ピアサポートなどの相談支援体制の構築や、オンラインサロンの企画運営を行います。また、認知度の向上に向けて、小・中学生への広報啓発や、

支援者へのリーフレット配布を行うとともに、ヤングケアラーのいる世帯へ家事などを行うヘルパーを派遣し、児童の心身の負担軽減を図ります。

医療政策推進

11億9057万円

急な病気やけがに関する市民の相談に対して、受診可能な医療機関の案内や、応急処置の助言などを行う救急医療電話相談（#7119）について、相談時間を毎日24時間に拡充し、受診相談体制の充実を図ります。高齢化や多様化が進む中、市民が必要な医療を受け続けられるよう、適切な受療行動などを促す周知啓発を強化するなど、医療政策推進に向けた取り組みを実施します。

その他の主要事業

● 多文化共生推進

5535万円

● 介護サービス基盤整備・介護人材確保

5億3554万円

● 地域福祉の推進

9億7529万円

● 地域安全対策

7099万円

● 交通安全対策

32億3079万円

子どもたちが健やかに育つまち

現 ごとこも・若者の最善の利益の実現

1億3743万円

子どもの権利について、児童や保護者に向けた啓発を行うとともに、子どもの意見を聞き取る手法や各施策への反映方法などについて、職員を対象に研修を行います。また、仙台ごとこも財団と連携しながら、子どもたちが市の施策などに対して意見を伝え、政策を決めるプロセスに主体的に参加できる「ごとこもいけん広場」を実施するなど、子どもと若者の最善の利益の実現に向けた取り組みを進めます。



仙台ごとこも財団が主催する「ごとこも・若者会議」では、子どもたちや若者が参画して意見交換などを重ね、企画の立案や提案の実現に向けた取り組みを行います

ごとこも・若者の安全な環境と成長を支える取り組み

557億3428万円

困難を抱える家庭の小学生が安心して過ごせる居場所を拡充した上で、基本的な生活習慣の習得などを目的とした支援を行います。また、セミナーの開催などにより自由な遊びを実現する場づくりへの理解を深め、プレーリーダーの育成を図るなど、子どもたちが安心して自分らしく育つ環境づくりに向けた取り組みを進めます。



プレーリーダーや地域の大人などの見守りの中で、子どもたちが自由な遊びを実現できるプレーパークの活動を支援します

屋内遊び場基本計画の策定

2000万円

子どもの遊びの環境の充実を図

地域社会全体でごとこも・子育てを応援する環境づくり

3億6251万円

子育ての隙間時間に閲覧できるよう、SNSを活用した子育てに関する情報発信をするなど、現代のニーズを踏まえながら、子育て家庭に寄り添った取り組みを実施します。また、仙台ごとこも財団と連携し、子どもの居場所を増やすため、地域における多世代交流の取り組みを発信するほか、男性の育児休業取得促進に向けたセミナーを開催するなど、地域社会全体で子どもや子育てを応援する環境づくりを進めます。

いじめ防止等対策推進

14億3091万円

いじめの未然防止・早期発見・早期対応を図るため、いじめ対策専任教諭を配置するほか、いじめ事案の課題を抱える小学校に対し、退職教員や退職警察官によるいじめ対策支援員を配置し、校内の巡回・指導を行います。「いじめ等相談支援室 S-KET」などの相談窓口において、いじめに悩む児童生徒などへの相談支援を行うほか、社会全体でいじめを防止する意識の醸成に向けた広報啓発などに取り組みます。

不登校児童生徒等支援

7億9574万円

不登校児童生徒等の社会的自立などに向けた支援を行うため、在籍学級外教室「ステーション」の設置校を、市立小学校は10校から15校に、市立中学校は35校から45校に拡充します。社会福祉上の諸課題に対して専門的な支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置する拠点校を40校から70校に拡充し、不登校児童生徒等に寄り添った支援の充実を図ります。

学校における働き方改革の推進

16億579万円

外部のコンサルタントによる客観的な学校業務の可視化や課題分析を行い、改善施策の実施に向けた移行計画を作成し、教職員の負担軽減を図ります。また、教職員向けの巡回型カウンセリングを行うほか、副校長・教頭が管理職務に注力できる体制づくりのため、学校マネジメント業務について助言などを行う支援員を増員します。

部活動の地域移行

4805万円

部活動指導の充実や、教職員の多忙化を解消する観点から、単独での部活動指導を担うことができ

るため、本市の魅力の一つである豊かな自然を活用した遊びや、屋外の遊びと連続性を持った遊びが可能となるような施設について、西公園南側エリアを候補地とした基本計画を策定します。

朝の校内遊び・体験の居場所づくりモデル事業

477万円

小学校の始業前の時間に、学校の施設内で児童が安全に学び、体験活動ができる居場所を開設し、子どもが安心して伸び伸びと育つ環境づくりを進めます。

若者支援と切れ目のない子育て支援

363億3444万円

若い世代が仕事や結婚、子育てなどについて、具体的なイメージを持ちながら自らの将来を考え、ライフデザインを描くことができよう、子育て家庭との交流を交えたセミナーを開催するほか、若者の意見やニーズを取り入れた結婚支援イベントを通して、結婚を希望する方に出会いの機会を提供

る部活動指導員を配置します。国の委託事業であるモデル校での実践研究を通して、休日の部活動の段階的な地域移行に係る効果的な手法の検討や課題の整理を行います。

指導体制の充実

11億788万円

複数の教員が協働して学級担任を担うチーム担任制を導入するほか、小学校の教科担任制を拡充するなど、教材研究の時間を確保するとともに、児童一人一人に合った教育活動を行います。

国際的な視点に立った教育の推進

2億7624万円

児童生徒が多様な価値観に触れ、柔軟な思考を身に付けられるよう、小学校・中学校で一貫して学ぶ英語を使った新教科の検討や開発、試行に向けた準備を行います。また、小学校外国語教育の指導体制の充実を図るため、段階的に全市立小学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、国際的な視点に立った教育環境の整備を進めます。

博物館・科学館魅力向上

7027万円

博物館において、宇和島市との

します。また、家事や育児などに対して不安や負担を抱える世帯に、育児ヘルパーを派遣し、支援を行うほか、就労要件を問わず時間単位で月一定時間まで保育施設などを利用できる事業を実施し、切れ目のない子育て支援の充実を図ります。

産後ケアリフレッシュ型モデル事業

362万円

産後ケア利用者のさまざまなニーズに対応するため、産後の母親が温泉などの宿泊施設でリフレッシュできる、心身の休息に特化した産後ケアモデル事業を実施します。

子ども医療費助成の拡充

2260万円

子どもたちの健やかな成長を支えるため、令和8年4月より子ども医療費助成の対象を15歳到達年度末までから18歳到達年度末までに拡大するとともに、5000円の利用者一部負担金を廃止するため、システムの改修などを行います。



令和6年度にリニューアルした科学館4階展示室。4月には3階展示室「生活と科学」がリニューアルオープンします

その他の主要事業

- 特別支援教育推進 8億9687万円
- 仙台自分づくり教育推進 7880万円
- ICT教育推進 28億9352万円
- 確かな学力育成 3億357万円
- 学都推進 309万円
- 学校教育施設整備 196億9495万円

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

ひとが輝く舞台となるまち

インバウンド推進

1億9606万円
 仙台・東北の認知度向上に向けて、欧米豪・香港・韓国市場において、旅行会社などの招聘や航空会社と連携した広告などのプロモーションを行います。また、宿泊客数が減少する冬季に誘客を図るため、主に台湾や香港からのインバウンド向けの宿泊促進キャンペーンを実施します。

仙台観光魅力創出

1億5144万円
 本市にゆかりのある漫画やアニメを活用して、本市の認知度の拡大を図ります。



新たなイルミネーションイベントの創出などにより、滞在期間の延長を図り、宿泊客数の増加につなげます

大を図るとともに、新たな冬のイルミネーションイベントの開催などによってナイトコンテンツの充実を図り、観光誘客と周遊促進につなげます。

観光客受入環境整備

3億9127万円
 観光客の来訪・滞在に必要な環境整備として、作並・定義地区の二次交通実証運行などを行うとともに、秋保大滝周辺エリア全体の整備計画の策定や、大滝展望台の設計を行います。

スポーツ推進

44億758万円
 7月に開館する仙台市アリーナ（現ゼビオアリーナ仙台）を、開館記念セレモニーなどの開催により積極的にPRし、アイスショーやスポーツイベントなどの誘致開催につなげ、交流人口の拡大を図ります。また、大規模スポーツイベントなどを開催し、観戦の機会を提供することで、市民のスポーツへの関心を喚起するとともに、来訪者の周遊を促進します。

文化振興

8億2920万円
 あらゆる市民に文化芸術の享受・創造の機会が開かれるよう、「楽都仙台」・「劇都仙台」をはじめとしたさまざまな文化振興事業を行います。再整備により生まれ変わる定禅寺通を見据え、アートやエンターテインメントの取り組みを創出することにより、多彩な魅力あふれる街づくりを進めます。

多様な人材の確保・定着

2億8095万円
 首都圏在住で東北出身の社会人を主なターゲットに、イベントの開催および情報発信を通じてUI・Jターンの増加につなげます。また、市内中小企業などに対する伴走支援などにより、働きがいのある就労環境の整備を促進します。

起業家・スタートアップ支援

4億7521万円
 仙台・東北からスタートアップを連続的に生み出す「スタートアップ・エコシステム」のグローバル



起業への関心が高い仙台・東北の若者を対象に、グローバルに活躍する人材を育成するプログラムを実施します

稼げる都市農業

3038万円
 経営体制の強化に向けたさまざまな助言を行う「アグリ経営アドバイザー」の派遣や、スマート農業機械の導入支援などにより、本市農業の生産性・収益性向上を進めます。

脱炭素都市づくり等推進

21億3642万円
 脱炭素先行地域として、既存建築物の省エネ・ZEB改修を推進するほか、地元工務店など向けに「ZEB改修体験会」を開催します。また、新築建築物への太陽光パネル設置などの制度化を進めます。

勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり

142億2725万円
 市内中心部の日常的なにぎわいや交流を創出するため、市役所本庁舎建て替えなどの事業と連携しながら勾当台公園および定禅寺通を含む周辺道路の再整備を行うほか、公民連携によるまちづくりを進めます。



新本庁舎の低層部と周辺エリアとの一体的利活用に向けて、検討を進めています

青葉山エリアのまちづくり

9億43万円
 青葉山エリアの価値や機能を高

めるため、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の設計を進めるとともに、音楽イベントなどの先行事業の実施などにより整備に向けた機運醸成を図ります。また、伊達政宗公没後400年となる令和18年の仙台北城大手門復元に向け、基本構想を策定します。

防災・減災対策等の推進

5億6352万円
 長町―利府線断層帯地震による火災防止に向け、産学官金民連携による普及啓発などの取り組みを進め、仙台防災枠組に基づく優先行動の定着などを図ります。指定避難所におけるマンホールトイレの整備や簡易ベッドなどの追加備蓄により、避難所環境を改善します。また、被災された方々のうち、健康面の支援が必要な方への個別支援や、心身機能の低下予防と孤立防止を目的としたコミュニティ支援を行います。

救急体制整備

3億4099万円
 市内医療機関の役割分担と連携により、救急患者受入病床を確保し、救急医療の安定的な提供を図るほか、救急搬送時間の短縮や隊員の負荷軽減などのため、新たな救急情報システムを導入します。

その他の主要事業

- 東北連携推進 1億6410万円
- 企業立地促進 7億644万円
- 商店街活性化推進 3162万円
- 農林業振興 16億2594万円
- 資源循環都市づくり推進 54億742万円
- 地域づくりパートナーサポート 6億1456万円
- 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み 2億2408万円
- 公共交通の利便性向上 5200万円
- 都心再構築プロジェクト 1億5574万円
- 八木山動物公園整備 3億9810万円
- 総合的な浸水対策 52億6875万円
- 機能集約型都市づくりの推進と良好な居住地域づくり 28億1233万円
- 災害活動体制充実強化 54億3383万円
- ガス事業の民営化 2498万円

職員の意識改革と行政経営

Full Digital 市の役所 5億3923万円
 行政サービス・事務事業にデジタル技術を浸透させ、業務プロセスの再構築を行い、徹底的な効率化を図るとともに、市民の多様なニーズに合わせた行政サービスを提供します。

人材育成推進・組織力強化

3673万円
 職員研修や効果的な人事管理などにより、職員の意識改革や意欲向上を図るほか、事務の効率化を進めるため、総務事務センターの設置に向けた準備を行います。

その他の主要事業

- 総合計画の推進 2624万円
- 公共施設マネジメントの推進 693億556万円
- 市税等の収納率向上対策 2億3897万円
- 総合コールセンター運用 1億5718万円
- 職員採用試験の受験者増に向けた取り組み 942万円

令和7年度の予算については、仙台市ホームページ（サイト内検索で「仙台市の財政」と検索）をご覧ください

青葉区

区民協働まちづくり事業
「青葉区民まつり」や「宮城地区まつり」などを開催するほか、区民主体の各種イベントを支援します。また、地域の課題解決や活性化などの活動への助成を行います。



「青葉区民まつり」では会場内各ステージで、地域で活動する団体による多彩な演奏などが繰り広げられ、お祭りを盛り上げます

未来につながる地域力推進事業
地域に向いて町内会を支援する「出前まちづくりサポートセンター」事業やマンションコミュニティ強化、学生の参加による地域づくり推進、作並・新川地区活性化、仙台萬本さくらプロジェクトなどに取り組みます。また、先端技術などを活用し、少子高齢化などが進む宮城地区西部における地域課題の解決に取り組みます。



大町や西公園の周辺をまち歩きする「親子で楽しむ宝さがしツアー」

- 宮城総合支庁庁舎等建替事業
新たな地域の拠点として、その機能の充実・強化を図るため基本計画策定に取り組みます。
落合保育所建設
学校教育施設整備
東六番丁小学校、北仙台中学校の校舎等増改築工事を行います。
木町通市民センター大規模修繕設計
旭ヶ丘駅前公共施設整備
広瀬文化センター大規模修繕
小島島コミュニティ・センター改築工事
川内コミュニティ・センター大規模修繕
南吉成コミュニティ・センター大規模修繕設計
道路整備
高畑定義線、愛子赤坂線などの整備を行います。
橋りょう整備
仙台駅西口ペDESTリアンデツキの補修工事などを行います。
公園整備
中山台一丁目公園などの整備を行います。
西公園再整備

宮城野区

区民協働まちづくり事業
「みやぎの・まつり」の開催や「宮城野盆唄」の普及をはじめ、子育て支援、防災、地域の魅力発信などに取り組みむほか、公募によるまちづくり活動への助成を行います。また、次代のまちづくりを担う若手人材の育成を目的としたセミナーなどを開催し、地域との交流を深め、ネットワークづくりを促進します。



ステージ発表や露店、ブース展示など、区民主体で開催する「みやぎの・まつり」

未来につながる地域力推進事業
多様な主体の連携による地域づくり活動などを進めるため、情報共有・課題検討を行う勉強会や実践につながるワークショップの開催などを支援します。
海浜エリア活性化事業
二次交通の実証運行や、海浜エリア全体の周遊を促進するイベントの実施により、域内の回遊性向上を図るとともに、未来を担う世代に向けた震災伝承の取り組みなどを、地域や事業者と連携しながら進めます。



震災伝承施設「蒲生なかの郷愁館」において企画展などを開催します

- 子どもの頃からの健康づくり事業
児童などを対象に、心と体の健康づくりに取り組みます。
鶴ヶ谷西児童館建設設計
鶴ヶ谷小学校改築設計
市民センター大規模修繕（高砂、岩切）
榴ヶ岡市民センター大規模修繕設計
鶴ヶ谷コミュニティ・センター改築設計
鶴ヶ谷東コミュニティ・センター大規模修繕
鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備推進
福田町駅移転に伴う駅周辺施設の整備
福田町駅移転に併せて、車両乗降場などの施設や周辺道路整備について設計を進めます。
道路整備
元寺小路福室線外線、中野寺前北上線などの整備を行います。
橋りょう整備
燕沢小鶴線（安行寺橋）などの補修工事などを行います。
公園整備
高砂中央公園などの整備を行います。

若林区

区民協働まちづくり事業
「若林区民ふるさとまつり」や「若林わくドキまち歩き」、「ラヂオはいらいん若林」など、区の特徴を生かし、地域の魅力発信に取り組みます。また、地域の課題解決や活性化のため、公募により市民団体が自主的に取り組みまちづくり活動への助成を行います。



歩きながら区内の歴史や文化に触れ、地域の魅力を体験できる「若林わくドキまち歩き」

未来につながる地域力推進事業
地域の課題解決や活性化を図るため、東北学院大学と地域が連携・協働する取り組みを推進します。
また、町内会や地域団体による地域課題解決、にぎわいづくりへの取り組みを支援し、住民主体のまちづくりを促進します。
海浜エリア活性化事業
東部沿岸地域の伝統的なにぎわい創出に向け、貞山運河での親水イベントや海辺のライトアップなど、海浜エリアの地域資源を生かした取り組みを進めるほか、周遊促進に向けたループバス実証運行や海岸公園整備、防災イベントなどを開催します。
深沼海水浴場再開
若林区地域健康づくりちよいちチャレンジ事業
沖野地区の住民や地域団体を対象に、関係機関と協力しながら健康づくりの実践を支援し、地域の健康増進を目指します。
区役所庁舎大規模改修工事
施設の利便性向上と長寿命化を図るため、区役所庁舎の大規模改修工事を行います。
せんだい農業園芸センター宿泊実証実験
コミュニティ・センター大規模修繕（遠見塚、連坊）
道路整備
霞目飛行場北線、南小泉茂庭線（宮沢橋）などの整備を行います。
公園整備
長喜城東公園などの整備を行います。

- 長町・歩いて楽しい街並み形成促進事業
長町商店街エリアにおいて、安全で快適な、歩いて楽しい街並みの形成に向け、社会実験を実施するとともに、官民連携により基本計画の策定を進めます。
太白遊びの担い手育成事業
公園などを活用した体験プログラムなどにより、担い手の発掘や育成を図り、子育てを応援する地域づくりにつなげます。
健康教育、相談支援の推進
学校や地域と連携した「たいはく思春期のいのちの授業」や、障害のある方・高齢者への包括的な相談支援を行います。
（仮称）秋保児童館建設
学校教育施設整備
上野山小学校の校舎等増改築工事、秋保小学校と馬場小学校の統合に関する校舎等新築工事などを行います。
生出地域複合施設建設
太白区文化センター大規模修繕設計
コミュニティ・センター大規模修繕設計（長町南、金剛沢）
道路整備
郡山折立線、烏宮前街道1号線などの整備を行います。
橋りょう整備
熊野宮橋などの整備や太白大橋の補修、耐震工事を行います。
公園整備
（仮称）山田新町公園などの整備を行います。

太白区

区民協働まちづくり事業
「太白区民まつり」や「まつりだ秋保」を開催するほか、大卒との協働により、若者のまちづくり活動への参加を支援します。また、公募により市民団体が取り組みまちづくり事業への助成を行うなど、地域づくり活動を支援します。



地域団体などが出演し、歌や演奏、ダンスなどが披露される「太白区民まつり」のステージ

未来につながる地域力推進事業
多様な主体との連携を通じた各地域の活性化と地域力向上に取り組みます。生出・坪沼地区では、農業を軸とした地域づくりを支援するほか、秋保地区では、魅力ある体験の場の創出などによる交流人口拡大に取り組めます。
豊かな自然と触れ合い、里山文化を体感できる「野尻いぐする会」の天神淵川遊び体験

- 市民健診受診率向上事業
受診勧奨用チラシ・封筒などをさらに工夫し、市民健診受診率の向上に取り組めます。
区役所庁舎建替事業
泉区役所を建て替えるとともに、建て替えを契機とした泉中央地区の活性化について、地域と協働で検討を進めます。
学校教育施設整備
黒松小学校の校舎増改築工事などを行います。
市民センター大規模修繕（黒松、長命ヶ丘、寺岡）
道路整備
泉塩釜線、長命ヶ丘幹線3号線などの整備を行います。
橋りょう整備
八乙女駅前線（八乙女駅前歩道橋）の補修設計や、新早坂下橋の補修および耐震工事を行います。
公園整備
七北田公園、将北4号公園などの整備を行います。

泉区

区民協働まちづくり事業
「泉区民ふるさとまつり」や「七北田川クリーン運動」、「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」などのイベントを開催します。また、大学生による地域づくり活動や高校生主体の安全安心まちづくり活動を支援するほか、公募により区民の皆さんが自主的に取り組みまちづくり活動への助成を行います。



「七北田川クリーン運動（自然観察会）」でのいかだ下りの様子

未来につながる地域力推進事業
泉ヶ岳周辺の交流人口拡大を目指し、民間事業者と連携した四季折々のイベント開催や情報発信の強化、回遊性向上など、にぎわい創出に向けた取り組みを進めます。また、郊外居住地のさらなる活力向上に向けて、地域おこし協力隊などと協働した取り組みを進めるほか、地域主体の課題解決に資する取り組みを支援します。

- 市民健診受診率向上事業
受診勧奨用チラシ・封筒などをさらに工夫し、市民健診受診率の向上に取り組めます。
区役所庁舎建替事業
泉区役所を建て替えるとともに、建て替えを契機とした泉中央地区の活性化について、地域と協働で検討を進めます。
学校教育施設整備
黒松小学校の校舎増改築工事などを行います。
市民センター大規模修繕（黒松、長命ヶ丘、寺岡）
道路整備
泉塩釜線、長命ヶ丘幹線3号線などの整備を行います。
橋りょう整備
八乙女駅前線（八乙女駅前歩道橋）の補修設計や、新早坂下橋の補修および耐震工事を行います。
公園整備
七北田公園、将北4号公園などの整備を行います。



南東側から見た泉区役所新庁舎のイメージ

令和7年度予算のあらまし

一般会計は、社会保障関係費や施設整備費の増加などにより、前年度比276億円増の6,757億円と、当初予算では4年連続で過去最大規模となりました。

また、特別会計は、公債管理特別会計における公債費の増加などにより前年度比129億円増加、企業会計は、ガス事業における原料費の減少などにより前年度比8億円減少し、一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆2,633億円と、引き続き1兆円を超える規模となりました。

歳入 市税や地方交付税などが増加

市税収入は、定額減税の終了や給与所得などの増加による個人市民税の増加、土地に係る負担調整措置による固定資産税の増加などにより、167億円増加しました。また、地方交付税は、普通交付税の増加などにより、47億円増加しました。

歳出 義務的経費・投資的経費ともに増加

【目的別】 保育施設への給付費などが増加した健康福祉費が2,578億円（38.2%）となり、最も大きな割合を占めました。次いで、教育情報ネットワーク運営に係る経費などが増加した教育費が1,176億円（17.4%）、総務費が669億円（9.9%）、土木費が617億円（9.1%）となりました。

【性質別】 人件費、社会保障関係費などの扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、子育て関連の事業費の増加などにより、前年度に比べて66億円の増加となりました。また、投資的経費は、市役所本庁舎の建替事業費のほか、スポーツ施設整備費の増加などにより、前年度に比べて79億円の増加となりました。

世界から選ばれる「仙台」の実現に向けた重点的な予算配分

本市の財政は、市税収入が増加傾向であり、主要一般財源全体としてもおおむね堅調に推移する見通しであるものの、歳出面では、社会保障関係費や公共施設の長寿化対策費の増加が見込まれるなど、歳出の伸びが歳入の伸びを上回る状況が続く見通しであることから、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立が重要となります。

このような中、本年度においては、誰もが力を発揮できるまちづくりを進め、世界から選ばれる「仙台」を実現するため、「多様なひとの力が生きるまち」、「こどもたちが健やかに育つまち」、「ひとが輝く舞台となるまち」の3つの柱を基軸に予算配分を行い、各般の施策に取り組んでいきます。

予算についてのお問い合わせは
 財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、
 または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

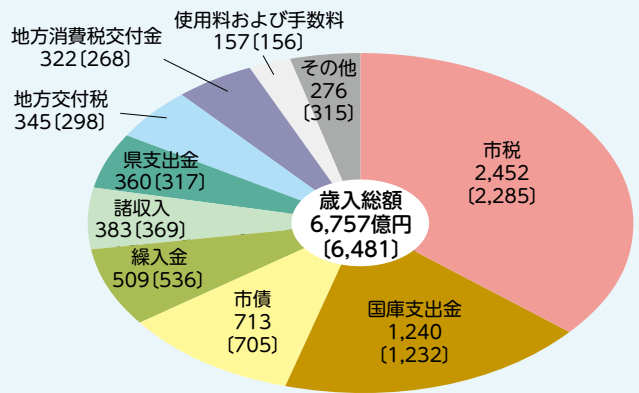
令和7年度の会計別の予算規模

	令和7年度（前年度比）
一般会計	6,757億円（276億円増加）
特別会計	3,309億円（129億円増加）
企業会計	2,567億円（8億円減少）
合計	1兆2,633億円（397億円増加）

歳入内訳（一般会計）

（単位：億円）

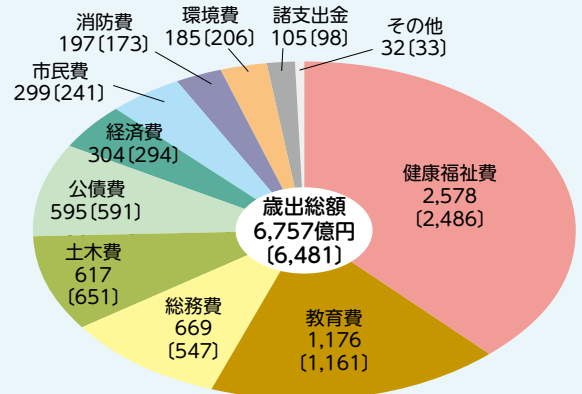
※〔 〕内の数字は令和6年度当初予算の金額



【目的別】歳出内訳（一般会計）

（単位：億円）

※〔 〕内の数字は令和6年度当初予算の金額



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

（単位：億円）

